

助け合う
心で結ぶ

福祉の輪

あ さ く わ

明 第二西地区社会福祉協議会

第35号

令和5年8月25日発行
編集：広報部会
発行責任者：梅澤敏夫
松戸市古ヶ崎4-3490
電話 047(367)7727

明第二西地区社協は次の町会
で構成しています

新田第1・第2・第3各町会・古ヶ崎本田第1・第2・第3各町会
第1・2・3・4・5・6・7・8丁目各町会・栄町坂川町会・栄町西町会
古ヶ崎町会・栄町口町会 [町会50音順]

ふれあい会食会 5月19日(金)

コロナ禍で三年余り開催されていなかつた「ふれあい会食会」が古ヶ崎市民センター二階ホールにて開催されました。古ヶ崎新田連合町会の料理スタッフの皆さんがあつたお弁当を参加者の皆さんが美味しそうに食べているのが印象に残りました。



車いす講習会 6月15日(木)

高齢者支援連絡会主催・地区社協後援で車椅子の講習会が開催されました。当日は松戸市社協のご協力もあり車椅子14台・総勢約50名の参加を頂きました。「基本操作」「段差のあるところでの操作方法」「車椅子に乗った目線」等の体験を致しました。

災害時における高齢者・身体の不自由な方への対応を地域で行えるよう備えていきたいと考えています。今後は地域の皆様が講習を体験して頂けるように機会を設けていきたいと思います。

令和5年5月28日(日)

明第二西地区社会福祉協議会の評議員会が開催され、各部会の活動報告、社協事業活動報告、会計報告がされ出席者の承認を得ました。その後、新年度の理事の選出がされました。今年度は選挙ではなく各団体の推薦により新理事が決定されました。

日頃は明第二西地区社協の事業活動に対し、「理解と協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、今回の役員改選により引き続き会長に選任され就任いたしました。微力ながら、本年度の基本方針の目標である「地域福祉の拠点として開かれた地区社協を目指す」の実現に向け、各団体のご協力を仰ぎながら、活動を推し進めてまいりたいと考えております。地域の皆さまには、地区社協活動に対して興味や関心をもっていただき、「理解を得ることが推進の原動力になります。自分から参加してみたい、参加して楽しかった」という声が聞こえるような事業活動を新たに創りだしていきたいと考えております。今後も、より一層のご支援とご協力をお願ひいたします。

会長 梅澤 敏夫

会長就任の挨拶



初代チャンピオン 河田勝利さん

改修工事が終わった市民センターのホールでの「健康ひろば」が開催されました。6月17日(土)の健康作りは野外での活動のひとつとして古ヶ崎小学校グラウンドをお借りして「みんなのグラウンドゴルフ大会」を開催しました。参加者65名(内子供2名)真夏日で参加者の熱中症が心配されましたが、スポーツ推進委員の皆様のご支援を頂き、大会の運営もスムーズに行われ何事もなく無事終了する事ができました。賞品も大変喜んで頂き、楽しかったと大好評でした。



ひまわりカフェは、おしゃべりをしながら交流を広げる場として毎月第2火曜日10時～13時まで古ヶ崎市民センターで開いております。お散歩の途中や、時間のある方は、遠慮なくご来場頂ければ同じ思いの人達があなたを待っています。また、男性の方々も遠慮なくお越しください。皆さんと心置きなく楽しく話の輪に入つて心の洗濯をし、リフレッシュしませんか。お話をコーヒーの香りが心を和ませ楽しいひとときを過ごしていただけるよう私達仲間9人が皆様のお越しをお待ちしております。

高齢者部会 ひまわりカフェ



子育て支援部会

市民センター改修工事が終り半年ぶりにホールでの開催が再開しました。

4月19日(水)お節句 タペストリー型のぼりの製作に親子で取り組みました。新聞紙で作ったかぶとはテコレーションをして、世界で一つだけのかぶとができました。

6月21日(水)七夕まつり 缶にスタッフが準備した飾りセットを吊るし、短冊にはそれぞれの願いごとを書いて持ち帰りました。

7月17日(水)納涼祭 保健師さん、健康推進委員さんも参加していただき、「金魚すくい・ダーツ・たからばこ・ひもくじをして楽しみました。

5月17日(水)ミニ運動会 かけっこ・玉入れ・パン食い競争・輪入れを楽しみました。

6月21日(水)七夕まつり 缶にスタッフが準備した飾りセットを吊るし、短冊には

7月17日(水)納涼祭 保健師さん、健康推進委員さんも参加していただき、「金魚すくい・ダーツ・たからばこ・ひもくじをして楽しみました。

6月21日(水)七夕まつり 缶にスタッフが準備した飾りセットを吊るし、短冊には

7月17日(水)納涼祭 保健師さん、健康推進委員さんも参加していただき、「金魚すくい・ダーツ・たからばこ・ひもくじをして楽しみました。



「矢切の渡し」と「野菊の墓文学碑」

6月初めのさわやかな日、広報部のメンバーは松戸の名所に出かけました。まずは「矢切の渡し」へ。バスを降り、川風に吹かれ、ネギ畑を見ながら15分くらい歩くとひなびた渡船場に到着。陽の光にきらめく川面の向こう岸に寅さんの故郷、柴又も見えます。

恋の演歌にも歌われた渡しですが、もとはと言えば暮らしのための農民舟。手漕ぎでのんびりとした風情を残し、主に土日祝日に運行しています。(渡し場にある立て看板を参照してください)

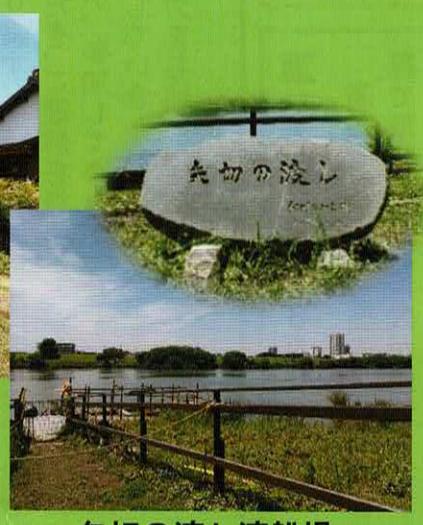
次に西連寺にある「野菊の墓文学碑」を見に行きました。伊藤左千夫の『野菊の墓』を題材にした碑です。近くには庚申塚、「野菊のこみち」「四季の道」もあり、歩く楽しさも味わえます。

<この日のコース>

松戸駅バスターミナル5番「矢切の渡し」行き→乗車20分→「矢切の渡し入口」→歩いて15分で渡船場→歩いて20分で西連寺文学碑(土日祝日は「矢切の渡し」渡船場近くに停車)



野菊の墓庚申塚



矢切の渡し渡船場

わが町さん歩

明第二西地区社協新企画事業のお知らせ!

感染症コロナも5類相当となり明第二西地区社協も様々な事業を行っています。

新企画事業として「ホテルオークラ」の元シェフ 工藤 満氏をお招きして特別な料理教室を開催します。

一流シェフによる料理教室

今回は「誰でも作れる」をモットーにコンチネンタル風スパイスカレーソースの作り方を教わります。

3時間ほどで、試食までして頂きます!一流シェフが作るカレーを味わってみませんか。

日 時: 令和5年9月24日(日)10:00~13:00

場 所: 古ヶ崎市民センター 2F 料理教室

定 員: 18名

参加費: 1200円(当日会場で集めます)

受付: 電話のみの受付になります

047-367-7727

募集期間 令和5年8月22日~9月20日

(募集期間内でも定員に達し次第締め切りとさせて頂きます)

※服装は料理の出来る服装、エプロン、マスク、三角巾(頭にかぶる物)等

お子様連れはご遠慮願います



「頭の体操」・「数独」いずれかを解き、答と感想を書き、ご応募してください
※1問だけでもOKです

● 地区社協事務局にある応募用紙か、FAX・はがきメールの受付となります。

電話での受付はしていません。

● 締め切り: 2023年9月30日(土)

● 賞品: 保冷温トートバッグ・30名様

※応募者多数の場合は第三者立ち合いの上、抽選いたします

※賞品は事務局で手渡し、または配送いたします

● 応募方法は下記のアドレス・住所・番号まで

メールアドレス: akira5bukai@gmail.com

ハガキの場合: 松戸市古ヶ崎4-3490

明第二西地区社会福祉協議会宛

FAX: 047-703-9996

ウォーミングアップ問題



カエルがいます、子どもは?

問題

今回は()に入る文字は?

初級 北・本・()・九
ヒント ノーヒント

中級 親・人・中・()・小
ヒント ノーヒントです

上級 S・M・T・()・T・F・S
ヒント 毎日ですか?

難問 A・()・D・F・G・H・J・K・L
ヒント オフィスや家庭でも使うかも?

34号の「頭の体操」には多くの応募と貴重なご意見を頂きありがとうございました。予定数より多くの応募数でしたが、応募者全員の方に賞品を配布させていただきました。

応募する際は必ずご自分の住所、名前を記入してください。

今回も多数のご応募をお待ちしております。

34号の答え合わせ

ウォーミングアップ問題(草花・花壇・桜花・花道)

初級 一 答(にのまえ)二の前が一

中級 平地 答(さかなし)平だから坂が

上級 四月一日 答(わたぬき)衣替えで綿

難問 小鳥遊 答(たかなし)鷹がない

数独 $9+9+9=27$

頭の体操

ボランティア登録のお願い
地区社協では様々なボランティア活動をしている中、今ボランティアの人員が不足しています。地域住民のためのボランティア活動のお手伝いをお願いします。時間、曜日は貴方の空いている時間で結構です。
まずはボランティア登録からお願いします。

1			6	8	9	
			5			6
			9		2	7
2		3	8			5
	7			1		9
4					2	
			5	9	4	1
9		2				6

赤い枠の数字を全部たすといつになるでしょう。

広報部会
久保田
備えあれば憂いなし!
災害はいつ起きるかわかりません。
い広場」は、防災がテーマになつて
ます。ぜひ参加してください。

猛暑日という言葉が毎日のように
聞かれるようになり、熱中症患者も増
えております。これは災害ともいえる
かもしれません。でも適切な対策をと
ることで予防することができます。
11月26日(日)開催される「ふれあ
いまつごろん